

サイクロン量子論

栗原和明

もう2年間もサイクリングと言えらうなことをしてないから、
評誌の原稿を書かといへても困るし、何を書いたらいいの
か、かじょうに考えを結果、次のようなバカな考えが思いついたので、
それを書くことにしよう。

最近、チャリシヨに乗るののがたるくなってきたが、チャリ
シヨに乗るちめには、チャリシヨに乗りたいという精神波（これを
サイクロン (cyclon) と呼ぶ）が、たれをこぼれポテンシ
ヤルの壁を乗り越えるか、または、通りぬけを求む、とまあ十分
な振幅を持つ場合、チャリシヨに乗るという行いにつながる
のである。このことを次のようなモデルで考えてみよう。

「チャリシヨに乗ろうかな」と思っているときの精神場を①
に表わす。ポテンシャルの壁として高さ U_1 、厚さ a なる四角形を
考える。cyclon が z の鉛直の x 軸の負の方向から、ポテンシャルの
壁に向か、 x 軸を通るとき、 x 軸だけ直の領域に透過して
行くかを計算する。なお、cyclon には Schrödinger 方程式
が適用でき、ポテンシャルの壁は、高さ U に假しては

$$U = U_1 + U_2 + U_3 + U_4 \quad \text{①}$$

U_1 - チェリシフに乗っているとき(特に乗り
坂)の苦しさに関する量

U_2 - サイクリングにかかる費用に関する量

U_3 - 小さないたみに対する恐怖心に関する量

U_4 - その他

また、厚さ b は

b - 何か、自転車をこぎ場合のからたるさに
関する量

cyclon は、時間に関して変化するが、簡単にするために時間
に對して不変(定常状態)とする。1次元の *Schrodinger* 方
程式は

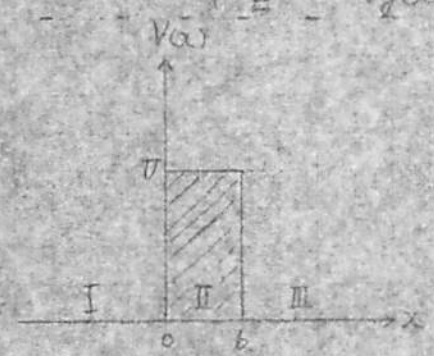
$$\frac{d^2 \psi(x)}{dx^2} + \frac{2m}{\hbar^2} [E - V(x)] \psi(x) = 0 \quad (2)$$

$\psi(x)$ *cyclon* の波動関数

m *cyclon* の質量

$$\hbar = h/2\pi$$

E *cyclon* のエネルギー



$$V(x) = 0 \quad (\text{Iの領域} \quad x < 0)$$

$$V(x) = V \quad (\text{II} \quad 0 < x < b)$$

$$V(x) = 0 \quad (\text{III} \quad b < x)$$

図1

$$\psi(x) = A \exp(ikx)$$

とおけば

$$-A^2 + \frac{2m}{\hbar^2} (E - V) = 0$$

$$k^2 = \frac{2m(E - V)}{\hbar^2} \quad \text{--- (2)}$$

③より、I, II, IIIの領域での Schrödinger 方程式は、

$$\text{I, III} \quad \frac{d^2\psi}{dx^2} + k^2\psi = 0, \quad k^2 = \frac{2mE}{\hbar^2} \quad \text{--- (4)}$$

$$\text{II} \quad \frac{d^2\psi}{dx^2} + k'^2\psi = 0, \quad k'^2 = \frac{2m(E - V)}{\hbar^2} \quad \text{--- (5)}$$

I では入射波 (x, 正の方向) と II 境界での反射波 (x, 負の方向) がある。入射波の振幅を 1 とすれば、I における波は

$$\psi_1 = \exp(ikx) + B \exp(-ikx) \quad \text{--- (6)}$$

II における波は

$$\psi_2 = C \exp(ik'x) + D \exp(-ik'x) \quad \text{--- (7)}$$

III では x, 負の方向の波はないから

$$\psi_3 = E \exp(ikx) \quad \text{--- (8)}$$

ψ_1, ψ_2, ψ_3 は $x = a, b$ で連続でなくてはならないので、境界

条件は

$$x = 0 \text{ で } \psi_1 = \psi_2 \quad \text{--- (9)}$$

$$\frac{d\psi_1}{dx} = \frac{d\psi_2}{dx}$$

$$x = b \text{ で } \psi_2 = \psi_3 \quad \text{--- (10)}$$

$$\frac{d\psi_2}{dx} = \frac{d\psi_3}{dx}$$

①②③を④⑤に代入すると

$$\left. \begin{aligned} \text{①②③より } 1+B &= B'+C \\ k(1-B) &= k'(B'-C) \end{aligned} \right\} \text{--- (11)}$$

$$\left. \begin{aligned} \text{①③④より } C \exp(ikb) &= B' \exp(ik'b) + C' \exp(-ik'b) \\ kC \exp(ikb) &= k'B' \exp(ik'b) - k'C' \exp(-ik'b) \end{aligned} \right\} \text{--- (12)}$$

⑪⑫より 反射波の振幅B, 透過波の振幅Cを求めると

$$\left. \begin{aligned} B &= \frac{(k^2 - k'^2) \{ \exp(-2ik'b) - 1 \}}{(k+k')^2 \exp(-2ik'b) - (k-k')^2} \\ C &= \frac{4kk' \exp(-i(k+k')b)}{(k+k')^2 \exp(-2ik'b) - (k-k')^2} \end{aligned} \right\} \text{--- (13)}$$

⑬より 透過率Tを求めよ。

i) $E \times V$ のとき

k, k' 一実数

$$\begin{aligned} T &= CC^* \\ &= \frac{4k^2 k'^2 \operatorname{cosec}^2 k'b}{(k^2 - k'^2)^2 + 4k^2 k'^2 \operatorname{cosec}^2 k'b} \end{aligned} \quad \text{--- (14)}$$

⑭より $T=1$ となるのは $k'b = (\pi + \frac{1}{2}\pi)$ のとき

$$T_{\min} = \frac{4k^2 k'^2}{(k^2 + k'^2)^2} \quad \text{--- (15)}$$

となり、最小値を求めよ。

$\therefore \therefore$ ④⑤を足し合わせて見よう。

$E \times V$ のとき ④⑤より $k^2 = k'^2$

$$\therefore T_{\min} = 1$$

$$E = U \text{ のとき } k^2 = 0$$

$$\therefore T_{\text{trans}} = 0$$

つまり、チャリソフにのりたれという精神波(cyclon)のエネルギーが、それをはむ障壁の高さより十分大きい場合、その障壁をものともせずに通るわけ、チャリソフにのるといふ行衆にならがるが、cyclonのエネルギーが障壁の高さとほぼ同じ位の場合には、チャリソフにのるかどうかは、その時の角動量の大きさによつて決まるとある。

②) $E < U$ のとき

②より、 $k^2 < 0$ となり、 k は虚数となるのである。次の様に実数 K をおきかえる

$$k^2 = -K^2$$

$$1. K^2 = \frac{2m(U-E)}{\hbar^2}$$

$$T = CC^*$$

$$2. T = \frac{8K^2 k^2}{(k^2 + K^2)(\exp(Kb) - \exp(-Kb)) + 8K^2 k^2} \quad (1)$$

②よりわかることは、 $E < U$ であっても透過率 T は 0 にならない。つまり、たとえは、次の体系にフリーランに行こうか否かと思つてもそのcyclonのエネルギーがフリーランに行こうか否かをはむポテンシャルより小さい場合、その日には然らぬチャリソフに乗らないといふのではなく、衆のまわりをちんたらチャリソフで散歩する、というふうなことに存するのである。

と、まあ、あんなこと書いてが、都立にこんなこと書いて
いいのかな？